

# 研究所だより

編集・発行

千葉県長生地方教育研究所  
茂原市東郷2300-1TEL 0475(24)9721・FAX 0475(23)4820  
H P <http://www.choseikaikan.or.jp/>  
メール [kenkyujo@beach.ocn.ne.jp](mailto:kenkyujo@beach.ocn.ne.jp)

## 「学校訪問での私の思いと発見」

～今年度の県の重点施策から～

千葉県教育庁東上総教育事務所  
所 長 宮 内 教 夫

### 1 はじめに

昨年度、東上総管内の約半数の学校を訪問させていただいたが、学校訪問は私にとって新鮮な発見の場である。また、教育事務所の母体を別にする自分にとって、一期一会の機会であると自分に言い聞かせている。

今年度も引き続き所長を拝命し、同じように訪問をさせていただいているが、その際には、私なりのささいな努力として、事前にその学校についてできるだけ基礎知識を蓄えるように努めている。

それは、各学校にはその学校特有の歴史や伝統、地域性があり、何も知らないで訪問するのは失礼だと考えているからである。例えて言えば、それは面接で初めて人と会う前に履歴書を拝見することと似ている。

不思議なもので、学校要覧を古いものから順に何度も読み返し、研究紀要や公開研究会の冊子から当時の息遣いを感じていると、ぼんやりとその学校の姿が見えてくることがある。それは、単なる私の感想でしかないものではあるが、あたかも学校が人物に見えてくる、いわば学校ヒストリアというようなものである。

### 2 今年度の所長訪問から

つい先日、長生管内のある小学校を訪問する機会があった。明治6年に創立された歴史ある伝統校である。もちろん、教育事務所にある限られた資料の中で、その学校について私が知り得ることは多くはない。しかし、約20年前にその学校で行われていた研究内容が強く心に残り、全体会でそのことについて少し話をした。

それは、平成10年の学習指導要領の改訂を受け、「総合的な学習の時間」についての導入期の研究であったのだが、当時の研究紀要の文面からは、行間から新しい教育への期待や意欲があらわれてくるようであった。

研究紀要の巻頭言は次のように始まる。

～教師が一方的に教える教育から、一人一人の個性を尊重し、伸ばすための教育にシフトしていくのだ、そのためには、教師の役割も、教える技術の大切さもさることながら、子どもたちが学びたいという気持ちをどう引き出し、支援していくかという方向へ向かわなくてはならない。大変手間がかかり、根気のいる仕事である。(後略)

文章には、私たちは後戻りはしない、できないのだという強い決意さえ感じられ、新しい教育の扉を押し開けようとする熱意が伝わってくるのである。

当時、「生きる力」の育成に向けて、様々な提言がされ、新しい教育の方向性が示されたが、その内容は基本的には現在も継承され、約20年前のその決意は、今もって光り輝くようにさえ感じられる。

私が言いたかったのは、そのような気持ちを持って地域連携(昔遊び体験、老人ホーム訪問、獅子舞体験等)を中心とした児童の活動の幅を広げようとした研究を進めた方々への敬意を示すと共に、それは学校の伝統、特色であり、大切にしてほしいということ、(その場では言わなかったが)学校教育が何か特別な理論をもとに大きく進歩していった時代はあったのだろうか、という思いであった。

いつの時代も学校を進歩させてきたのは、現場を見守り、子どもたちの成長を願い、誠意を持って取り組んだ教職員の力であったのである。残された課題や十分な成果を得られなかったものも少なくなかったかもしれない。

しかし、それらは決して墓の中に閉じこめられてしまっているものではなく、見えにくくなってしまったものがあるとしても、綿々と、学校や東上総の教員や教育に受け継がれてきた成果であると思う。

訪問が終わり、帰る間際、その学校の教頭先生が駐車場にいた私たちに向け寄ってこられた。教頭先生は、次のように話された。

「実は私もその時の研究メンバーの一人でした。あの言葉を聞いて、当時のことを思いだし、涙が出そうになりました。」

思わぬことであったが、「やはり研究は終わっても人は残る。東上総にも優れた人はいる。」そんな気持ちを胸に私は学校を後にした。

### 3 これからに向けて

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」がキーワードとされている。文科省も趣旨や概念は示しつつも、あまり具体的な学習のスタイルや指導方法にまではあえて踏み込んでいないようである。

私は、小学校では基礎的な学習を重視した知識習得型のわかる授業と活用型の学力を身につけさせる学習との兼ね合いが難しく、中学校では高校入試との兼ね合いが悩ましい問題であると感じている。

学校教育の目標である、子どもたちにとっての自己実現と、教育する側にとっての次世代の担い手の育成を見据えながら私たちは舵を切ることが求められている。

新しい教育の扉を叩くのはだれだろうか。私たちは、また新しい扉の前に立っている。



## 「プログラミング教育について」

千葉県総合教育センターカリキュラム開発部  
研究指導主事 秋保 佳弘

### 1 はじめに

小学校におけるプログラミング教育のねらいは、プログラミングの言語を覚えたり、プログラミングの技能を習得したりすることではない。ねらいは、「小学校学習指導要領解説総則編」に述べられている以下の3点である。

- (1) プログラミング的思考を育むこと。
- (2) プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることなどに気付くことができるようにするとともに、コンピュータ等を上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと。
- (3) プログラミングを体験することを通して、各教科等で学ぶ知識・技能等を確実に身に付けさせること。

(1)の「プログラミング的思考」とは、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」と定義されている。言い換えれば、プログラミング的思考とは、「コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考」である。

本センターカリキュラム開発部の平成30年度調査研究事業「各教科等の特性に応じたプログラミング教育の指導法に関する研究」では、「どの学校でも、どの先生でも指導できるコンピュータを使ったプログラミング体験授業プラン作成」を目的に研究を進めた。そして、授業で活用できるコンテンツとして5つの「授業用プラン」と校内研修で活用できる「研修用プラン」を開発・修正し、千葉県総合教育センターのウェブサイト公開した。

5つの授業用プランには「指導案・プレゼン資料・ワークシート等」、研修用プランには「プレゼン資料・配布資料等」をパッケージにしてある。ぜひ、ダウンロードして活用していただきたい。



プラン紹介リーフレット

### 2 授業用プランの紹介

#### (1) プラン1 (2時間扱い)

「私たちの生活とコンピュータについて考えよう」

総合的な学習の時間 (小3～小6)

※プログラミング教材【Hour of Code「古典的な迷路」】

※はじめてのプログラミング授業ガイドビデオ「古典的な迷路」編をウェブサイトで公開中

目標：自分の暮らしとプログラムとの関係を考え、コ

ンピュータでプログラミングを体験しながら、その特性や良さに気付くことができる。

#### (2) プラン2 (4時間扱い)

「私たちの生活とコンピュータについて考えよう」

総合的な学習の時間 (小3～小6)

※プログラミング教材【Hour of Code「古典的な迷路」】・【Scratch】(プラン1に2時間分を増加したプラン)

#### (3) プラン3 (1時間扱い)

「うごく絵をつくろう」

図工 (小1～小3) ※プログラミング教材【Viscuit】

目標：コンピュータ(プログラム)の特徴を生かし、自分なりの発想でイメージした動く絵を作ることができる。

#### (4) プラン4 (算数の単元の最後に、総合との合科で2時間扱い) ※プログラミング教材【Scratch】

##### ①「円と正多角形」算数 (小5)

目標：プログラミング体験を通して、正多角形をかくときのきまり(回す角の大きさ $=180^\circ - 1$ つの角の大きさ)を見出すことができる。

##### ②「円と正多角形」総合的な学習の時間 (小5)

目標：どんな正多角形でもかけるプログラムを考えることを通して、人が手作業でするのが難しかったり手間がかかったりすることでも、コンピュータであれば容易にできることに気付くことができる。

#### (5) プラン5 (理科の単元の最後に、総合との合科で2時間扱い) ※プログラミング教材【micro:bit】

##### ①「電気の利用」総合的な学習の時間 (小6)

目標：自分でつくったプログラムによって機械が動作し、プログラムを変えることで動作も変わることを確認しながら、自分の意図するプログラムをつくることができる。(micro:bitの使い方を覚える)

##### ②「電気の利用」理科 (小6)

目標：LEDの点灯(消灯)を制御するプログラムなどを考えることで、エネルギーを効率よく利用している身の回りの道具やプログラミングに興味をもつ。

### 3 おわりに

令和2年度に小学校では新学習指導要領が全面実施となり、プログラミング教育が必修化される。それに向けての準備期間は、あと9ヶ月もない。ぜひ、今年度中に各小学校でプログラミング教育に関する校内研修を実施し、全ての先生方にプログラミングの楽しさを実感してほしい。その際、活用できる研修用プランや授業用プラン及びはじめてのプログラミング授業ガイドビデオを千葉県総合教育センターのウェブサイト提供しているの、ぜひ活用していただきたい。

URL 参照→ <https://www.ice.or.jp/nc/kenkyu/houkoku/media>

## 長生郡・茂原市小・中学校「研究主題と研究仮説」

長生郡・茂原市小中学校の「研究主題と研究仮説」について紹介いたします。各学校の研究に役立てていただければと思います。

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
東郷小	児童が自ら学び考え、表現する学習指導の在り方 ～国語科の学習を通して～	「まとめあげる」プロセスにおいて、学んだことを振り返り、自分なりの思いを発信していく場の設定や工夫をすれば、身についた力を実感することができるだろう。	国語科
豊田小	自己の生き方を見つめ、主体的に判断し、よりよく生きる児童の育成 ～子どもが自ら考え、議論する道徳の授業づくりを目指して～	1 児童の思考を揺さぶる学習課題や発問を工夫することで、主体的に考え、自己の生き方について見つめ直し、考えを深めることができるだろう。 2 学び合う学習活動を通して多面的・多角的に考えを深めることで、幅広い視野から判断し、よりよく生きるための思考力を養うことができるだろう。	道徳科
二宮小	一人一人が輝き、「考え、認め合う」力を身につけた児童の育成 ～「特別の教科 道徳」を通して～	「特別の教科 道徳」において、以下の点を重視しながら題材を構成し、それぞれの考えを認め合う場を工夫すれば、進んで自分の考えを持ち、共に学び認め合う力を高めていくことができるであろう。 (1) 工夫したワークシートを活用した個人思考の場の設定 (2) 学習形態を工夫した集団解決の場の設定	道徳科
茂原小	自ら考え判断し、表現できる児童の育成 ～読む力を育む国語科学習の在り方～	児童が主体的に取り組める学習過程を設定し言語活動を工夫すれば、目的意識をもって文章や言葉と関わり、読む力が高まるであろう。	国語科
西小	主体的に探求する児童を育てる学習指導の在り方 ～「思考し、表現する力を高める実践モデルプログラムを活用した授業改善～	「見方・考え方」を働かせた授業展開を実践すれば、主体的に学びを探求し、思考し表現する力を高めることができるであろう。	国語科 算数科 道徳科
五郷小	どの子にも「わかる」「できる」楽しさを味わわせる学習指導 ～考えを広め深める「比較検討」の工夫～	「比較検討」の段階において、考えを深められるような手立てを工夫すれば、どの子も進んで話し合い、友達の考えと比べたりよりよい考えを導いたりして、「わかる」「できる」楽しさを味わうことができるであろう。	算数科
鶴枝小	考える意欲を高める指導法の追究 ～算数科において、自分の考えを持ち、表現する活動を通して～	算数科の学習において、児童の「考える意欲」をどのように高めるか、そのための具体的な指導のあり方を追究する。	算数科
萩原小	コミュニケーション能力を教科等横断的に育成する授業づくり ～子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて～	1 「資質・能力の三つの柱」に沿って整理した「コミュニケーション能力を発揮している児童の姿」を、目標設定、実践、評価、改善の場面でどのように活用するか。 2 各教科等の授業において、どのような「手立て」を用いて「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、コミュニケーション能力の育成を図るか。	全教科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
中の島小	自ら考え、主体的に問題解決に取り組む子どもの育成 ～算数科における指導法の工夫を通して～	教師の働きかけを工夫すれば、数学的な見方、考え方を働かせ、主体的に問題解決に取り組むことができるであろう。	算数科
本納小	効果的な小学校間連携のための、組織的な取り組みのあり方 ～豊かな人間関係づくり～	1 意図的な交流の場の設定 2 計画的・効果的な組織作り	
新治小	効果的な小学校間連携のための、組織的な取り組みのあり方 ～豊かな人間関係づくり～	1 意図的な交流の場の設定 2 計画的・効果的な組織作り	
豊岡小	進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 ～外国語活動・外国語・道徳を通して～	1 児童が興味を持つことができる学習環境や体験的な言語活動及び教材を工夫すれば、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が育つであろう。(外国語活動・外国語) 2 自分の考えや立場を表現する場を工夫して取り入れれば、考えを整理し深めるために、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が育つであろう。(道徳)	外国語活動 ・外国語・ 道徳
東部小	危険を予測し、回避できる児童の育成 ～地域との関わりを通して～	1 地域の素材や人材の活用の仕方を工夫すれば、日常生活に潜む危険について予測する力が身に付くであろう。 2 多様な体験活動や、授業の中に安全に関わる内容を取り入れていけば、自分や他者の安全を守ろうとする意識を高めることができるであろう。	学 校 安 全
緑ヶ丘小	主体的に表現しようとする児童の育成 ～外国語活動・外国語科の学習を通して～	児童が興味・関心をもつことができる体験的な言語活動や教材を、発達の段階に応じて工夫すれば、主体的に表現しようとする児童が育つであろう。	外国語活動 ・外国語科
東浪見小	考え・議論する道徳を実現するための指導のあり方を探る ～問題意識をもち、自己を見つめる指導の工夫～	1 多面的・多角的な思考を促す対話活動を充実させて、問題を自分事として捉えることができれば、考え・議論する道徳の実践が実現できるであろう。 2 問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れて、指導方法を工夫すれば、考え・議論する道徳の実践が実現できるであろう。	道 徳 科
一宮小	自ら考え、主体的に問題解決に取り組む児童の育成 ～海の大切さを考える環境教育をとおして～	発達段階に応じて環境への意識を高め、海洋問題への理解を深めていくことが、主体的に問題解決に取り組む児童の育成に有効であることを明らかにする。	全 教 科
白潟小	自ら考え、表現できる子どもの育成 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習指導の工夫～	ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、自ら考え、判断しながら表現する力を育むための効果的な指導方法について、実践を通して明らかにする。	全 教 科
南白亀小	よく考え、自分の考えを表現できる児童の育成 ～主体的な学びを促す授業づくりを通して～	児童一人一人が主体的に取り組みより良い解決の仕方を考え表現していくための指導の在り方とそのため具体的な方策について明らかにしていく。	全 教 科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
関 小	一人一人が輝き、「わかる」「できる」喜びを味わえる授業づくり ～思考力・表現力を育む学習活動の工夫を通して～	1 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る手立てや個に応じた支援方法を工夫していけば、「わかる」「できる」喜びを一人一人に味わわせることができるだろう。 2 学び合う場や比較検討場面を工夫すれば、自分の考えを基に他者と関わり合いながら、思考力・表現力を育てていくことができるだろう。	全 教 科
長 柄 小	基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた児童の育成 ～できる・わかる「楽しさ」、伝わる「喜び」を実感できる算数科の授業を通して～	1 児童が主体的に活動できる素材や教材・教具を工夫して取り入れたり、教え合い・伝え合う活動を取り入れれば、学習意欲が高まるであろう。 2 本時のめあてに関わる既習事項を振り返り問題解決に取り組めば、学習内容が分かり、基礎的・基本的な知識・技能が身に付くであろう。	算 数 科
日 吉 小	心豊かでたくましく生きる児童の育成 ～多様で効果的な「特別の教科 道徳」の指導方法の在り方を通して～	1 「考え、議論する道徳」にするための多様で効果的な指導方法を工夫すれば、道徳性が養われ、子どもたちが社会を生き抜くために必要な思考力や判断力などの力を身に付けさせることができるであろう。 2 「特別の教科 道徳」における評価の方法を理解して評価していけば、教師は個々の児童の道徳性に係る心の成長に気づき、見取ることができるであろう。	道 徳 科
長 南 小	思いやりの心や感謝の気持ちを育み、ふるさとを愛する児童の育成	1 長南町の自然や人、文化財のすばらしさに気づかせればよいであろう。 2 地域の人々との交流を大切にすればよいであろう。	福 祉 教 育
睦 沢 小	主体的に学び、思考する国語科学習の在り方 ～対話的に学び合う授業づくりを通して～	言葉による見方・考え方を働かせ、対話的に学び合う場を工夫すれば、自分の考えの形成の力を高めることができるであろう。	国 語 科
一 松 小	生きる力を支える確かな学力を身に付けた児童の育成 ～算数科における基礎的・基本的な内容の習得と活用を通して～	基礎的・基本的な内容の習得を図る手立てや個に応じた支援方法を工夫していけば、確かな学力を身に付け、活用することができるであろう。	算 数 科
八 積 小	自分を大切に、他人を大切にする児童を育てる道徳教育 ～考え、議論する道徳の授業の指導方法の工夫を通して～	1 問題意識が明確になるような発問を工夫すれば、児童一人一人が自己をみつめ、心の葛藤を自分事として考え、判断する心が育つだろう。 2 自分の考えや立場を表現する場を設定し、話し合い活動の工夫をすれば、自分とは異なる意見を持つ他者の多様な見方や価値観に気づき、互いを認め尊重し合う心が育つだろう。	道 徳 科
高 根 小	自ら考え、表現する児童の育成 ～国語科における言語活動を工夫した授業づくりを通して～	1 単元で児童に付けたい力にふさわしい言語活動を工夫して位置付ければ、目的が明確になり、思考力・表現力を高めることができるであろう。 2 学習問題や学習計画を見通し、関わり合いの場の授業改善をすれば、児童一人一人が自ら思考・表現しながら課題を解決することができるであろう。	国 語 科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
東 中	自ら学び、確かな学力を身につけた生徒の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業の改善～	基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、それを活用し自己を表現する場面を積極的に設け、学ぶ楽しさを実感できるわかる授業を実践すれば、学習に対する意欲が高まり、自ら学び、確かな学力を身につけた生徒を育成することができるであろう。	全 教 科
富士見中	確かな学びを育む授業のあり方 ～指導方法の工夫改善を通して～	1 学習課題を明確にし、生徒が学習過程の中で教え合い、意見を出し合う場面を工夫することで、お互いを高め合い主体的に学ぶ態度が育つであろう。 2 学習のルールを定着させるための工夫をすることで、生徒の学ぶ意欲が高まり、主体的に学ぶ態度が育つであろう。	全 教 科
茂原中	豊かな心と確かな学力を身に付けた生徒の育成 ～授業力の向上を通して～	豊かな人間関係づくりを土台として「主体的・対話的で深い学び」を推進し、「道徳教育」「キャリア教育」を実践し、指導力の向上と学習習慣の確立の視点から学習の充実を図ることにより、「豊かな心」が育まれ、「確かな学力」を身に付けた生徒を育成できるであろう。	全 教 科
南 中	自ら学ぶ生徒の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善～	各教科の特性を生かし、生徒の実際の状況を踏まえながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、自ら学ぶ生徒の育成につながるであろう。	全 教 科
本納中	共に考え、伝え合い、表現し合う生徒の育成 ～シンク（考えをもつ）ペア・グループ（考えを伝え合う）シェア（考えを深める）3つの場の工夫～	1 安心して自分の考えや意見を発信できる学習集団づくりを行えば、ペアやグループでの学習活動が活性化し、共に考え、伝え合い、表現し合う生徒の育成ができるであろう。 2 学習の過程で、自分の考えをもち表現することや伝え合ったり、話し合ったり、実験・調査をしたりする活動の場を意識し、学んだ知識・技能を生かした授業づくりを行えば、生徒は、自分の考えを深めることができるだろう。 3 ICTの活用など学習過程を工夫し、学習のまとめや自分の考えを深める時間を確保するために、学習内容や生徒の実態に応じた授業マネジメントを確立していけば、生徒が見通しを持って学習活動にとりくめるだろう。	全 教 科 全 領 域
早野中	主体的な判断力を養う道徳科を目指して ～他者との対話を通して～	1 導入・展開時で効果的な教材の活用をすることで、生徒が興味・関心を持ち、自ら学びたいという課題意識や課題追究への意欲を高めるであろう。 2 ねらいに迫る適切な発問を工夫することで、生徒が道徳的価値について多面的・多角的に考えることができ、議論が深まるであろう。 3 道徳ノートを工夫し、積み重ねることで生徒のよい点や進歩の状況を把握でき、学習の成果につながるであろう。	道 徳 科
西陵中	自ら学び、思考し、表現（判断）する生徒の育成 ～新学習指導要領を見据えた授業改善を通して～	1 学ぶことに興味関心を持たせ、見通しを持って粘り強く取り組み、自ら学習活動を振り返らせることで「主体的な学び」が実現できるであろう。 2 子供同士の対話・協働、子供と教員や地域の人との対話や考え方を手掛かりに考えさせることで、自らの考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できるであろう。 3 各教科で習得した知識や考えを活用して、学習対象と深く関わらせることで問題を発見したり、創造したりする「深い学び」が実現できるであろう。	全 教 科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
一 宮 中	夢の実現に向けて、知・徳・体をバランスよく育むための教育活動の工夫 ～オリンピック・パラリンピック教育の理念を基にした実践を通して～	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的・基本的な知識の習得・定着や、学習や行事の目標を達成するための計画や筋道を立てる場面を意図的に設定し、達成感や自己存在感を味わわせることにより、学習や行事、日々の活動に対して、主体的に自治的に取り組ませることができよう。</li> <li>2 オリンピック・パラリンピック教育を推進し、教育活動を工夫することにより、豊かな心と健やかな体の育成を推進し充実させることができよう。</li> <li>3 国際教育を位置づけ、他国の文化や日本の良さを知ったり、社会貢献のためのプロジェクトに参加したりすることにより、多様性を尊重する豊かな心、ルールやマナーを守り、社会に貢献しようとする実践的な力を育成することができよう。</li> </ol>	全 教 科
白 子 中	自己実現に向け、自ら学び、思考し、表現できる生徒の育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を解決する学びの場の工夫・改善をすれば、生徒は進んで学び考えるようになるだろう。</li> <li>2 学習活動に適した言語活動や体験活動を学びの場に意図的に取り入れれば、思考力・表現力が高まるだろう。</li> </ol>	全 教 科
長 柄 中	学ぶ喜びを感じ、主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～指導法の工夫・改善を通して～	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 話し合い活動や個人やグループで実験・調査に取り組み発表する場を充実させれば、生徒が考えを深め、問題解決能力や表現力が身につくであろう。</li> <li>2 魅力ある題材を精選したり、教材・教具・資料の効果的な活用方法を工夫したりすれば、生徒は興味・関心を持ち、学習意欲が向上するであろう。</li> <li>3 学習を進める中で、既習事項を意図的に振り返らせ関連を図ったり、くり返し練習したりすることで、基礎基本が定着し、主体的に学習に取り組むようになるであろう。</li> </ol>	全 教 科
睦 沢 中	「考え、議論する道徳」の実現を目指した授業づくり ～話し合いを充実させ、多面的・多角的に考える授業実践を通して～	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道徳科の授業の中で、ねらいに迫る発問を設定すれば、生徒一人一人が道徳的価値に根ざした問題について、自分との関わりの中で捉えることができるであろう。</li> <li>2 各教科において、小集団での話し合い活動を効果的に取り入れた授業を展開すれば、道徳科の授業においても自分の考えを表現できる生徒が育成されるであろう。</li> </ol>	道 徳 科
長 生 中	「確かな学力」を身に付けた生徒の育成 ～実感を伴う「わかる授業」の確立を通して～	生徒のできる喜びや創る喜びを実感できる「わかる授業」を目指して、授業を改善・工夫していけば、学力や学習意欲が向上し、主体的な学習態度や家庭学習の習慣化につながり、「確かな学力」を身に付けた生徒を育成できるであろう。	全 教 科
長 南 中	主体的に学習に取り組み、互いに高め合う生徒の育成 ～学び合い活動を通して～	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習課題や学習の流れを明確にすれば、見通しをもって、主体的に学習に取り組めるであろう。</li> <li>2 学習における学び合う場を工夫し充実させれば、多様な考え方に気づき、思考が広がったり深まったりするであろう。</li> </ol>	全 教 科

## 平成31年度長期研修生紹介



☆社会科☆  
 茂原市立五郷小学校 村上 健輔  
 <研究主題>  
 物事を多面的・多角的に捉える力を育てる社会科学学習のあり方  
 ～地域素材「天然ガス」の学習を通して～



☆道徳科☆  
 茂原市立東郷小学校 佐藤 範子  
 <研究主題>  
 高学年における「相互理解、寛容」の心を育てる道徳教育プログラム



☆音楽科☆  
 白子町立南白亀小学校 志田 輝美  
 <研究主題>  
 ふるさとのよさを実感しながら郷土の音楽と主体的に関わる児童の育成をめざした指導の在り方  
 ～郷土の芸能を総合的にとらえた教材開発を通して～



☆特別支援教育☆  
 茂原市立西小学校 鈴木あやか  
 <研究主題>  
 適切な行動を増やし、問題行動を減少させる支援方法  
 ～ABC分析を用いた行動の理解を通して～

# 平成30年度 長期研修生 研究発表会のご案内

昨年度の長期研修生の研修成果を地域で共有することを一つの目的として、研究発表会を行います。特に、教研集会での提案者となっている先生方は、レポートのまとめ方など、ぜひ参考にいただければと思います。多くの先生方の参加をお待ちしています。

○期日 8月7日(水)午後2時  
○場所 長生教育会館2階大会議室

### ◇発表者◇

★国語科★ 茂原市立中の島小学校 木村 大樹

#### 〈研究主題〉

問題解決能力としてのコミュニケーション能力の育成に関する研究  
～地域社会における問題に取り組む単元開発を通して～

#### 〈研究の概要〉

予測困難な社会を生き抜くコミュニケーション能力が求められている。この要請に応えるため、問題解決のプロセスの中でコミュニケーション能力を高める場を組織すること、コミュニケーション能力の実態を的確に捉え、それに応じた指導を工夫すること、たくさんの情報を分析し、効果的に組み合わせる情報活用能力を育成することの三点を視点として地域を題材とする単元を開発した。その結果、問題解決能力としてのコミュニケーション能力の向上につながった。このことから三つの視点に基づき、地域社会の問題に取り組む単元を開発することで、問題解決能力としてのコミュニケーション能力が育つことが明らかとなった。

### ★特別支援教育(情緒障害)★

長柄町立日吉小学校 野村 隆之

#### 〈研究主題〉

ASD傾向のある児童の主体的活動におよぼす運動効果に関する事例研究  
～ムーブメント教育・自立活動の考えを生かした運動プログラムの実践を通して～

#### 〈研究の概要〉

小学校学習指導要領には、特別支援学級において児童の発達を支える指導の充実として「自立活動を取り入れること。」と記載されており、自立活動の重要性が示されている。本研究では児童が主体的に学習に取り組むために、自立活動の視点に基づくアセスメントとムーブメント教育の考えを生かした運動を行い、その効果についてインターバル記録法や行動分析シート等を活用し検証を行った。その結果、対象児童が自分から学習に取り組む、周囲とかがわり合いながら活動することができる、といった場面が増え、運動の効果についての有効性を示すことができた。

### ★学校・学年・学級経営★

千葉県教育庁教育振興部児童生徒課  
生徒指導・いじめ対策室 重栖 充暎

#### 〈研究主題〉

資質・能力を高める効果的な校内研修の在り方  
～全国の教員等育成指標の考察から～

#### 〈研究の概要〉

教員にとって大切な資質・能力とは何なのだろうか。教員等育成指標を基に、資質・能力を高める効果的な校内研修の在り方を明らかにしたいと考えた。

職員間で対話を重視しながら、自分たちで研修に対する「ニーズの掘り起こし」を行った。それを基にワークショップ型の校内研修を実施した。その結果、研修への主体的な参加を促し、職員は意欲的に取り組むことができた。

子どもたちに「主体的・対話的で深い学び」を求める教員こそ、アクティブラーナーであるべきだと実感した研究となった。

## 研究所の紹介

所長 松村 暁雄 (茂原市立鶴枝小学校校長)



長生地方の教育課題を探求し、教育諸条件の改善充実のための資料を提供し、地域の教育振興に役立つ活動を運営の方針に掲げています。所員一同精一杯活動してまいりますので、ぜひご活用ください。

主事 佐藤 信之 (長南町立長南中学校)



長生地方教育研究所には、様々な教育書籍が保管されています。研究紀要や指導案、教育資料を閲覧したい、借りたい等、何か必要なことがありましたら、ご連絡ください。

### 調査部

#### 〈研究主題〉

小学校における外国語科の先行実施による成果と課題



重村 英伸 (茂原市立緑ヶ丘学校)  
佐々木有紀子 (茂原市立本納小学校)  
大島 梓 (長生町立長生中学校)  
大塚 宏幸 (一宮町立東浪見小学校)

先行実施期間となる平成30・31年に実態調査を行い、令和2年度の全面実施に向け、よりよい実施方法、研修方法の在り方を紀要としてまとめます。

### 研修部

#### 〈研究主題〉

教育課題の改善にむけた効果的な情報提供



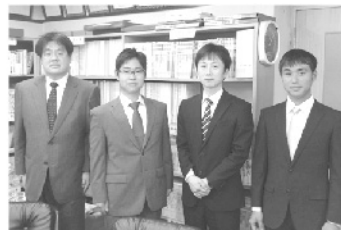
鈴木 公則 (茂原市立本納中学校)  
佐藤 剛 (一宮町立一宮小学校)  
西谷 真澄 (睦沢町立睦沢中学校)  
君塚 恵理 (茂原市立萩原小学校)

「研究所だより」の発行や各種研修会の運営を行っています。

### 情報部

#### 〈研究主題〉

研究の深まりと校務の効率化を目指して



片根 聡太 (長南町立長南小学校)  
宇野 廣 (白子町立白湯小学校)  
渡辺 大介 (長柄町立長柄小学校)  
池田 進 (白子町立白子中学校)

現場の教育研究、実践に役立つ教育資料の作成と紹介をします。また、各校の校内研究に関する資料を集め、研究所ホームページにデータベース化して掲載します。